

2025年度 事業計画書



学校法人 藤田学園
FUJITA ACADEMY

2025 年度事業計画書

目次

事業計画の骨子 1

事業計画概要

1. 教育推進本部 3

2. 医学部/大学院-医学研究科 4

3. 医療科学部/大学院-医療科学研究科 6

4. 保健衛生学部/大学院-保健学研究科 8

5. 研究推進本部 10

6. 橋渡し研究統括本部 11

7. 藤田医科大学病院（第 1 教育病院） 12

8. 藤田医科大学 ばんだね病院（第 2 教育病院） 14

9. 藤田医科大学 七栗記念病院（第 3 教育病院） 15

10. 藤田医科大学 岡崎医療センター（第 4 教育病院） 16

11. 藤田医科大学東京 先端医療研究センター 17

12. 地域包括ケア中核センター 18

13. 法人本部..... 19

発行時期
2025 年 6 月

事業計画の骨子

学校法人藤田学園は、日本や世界がこの先直面していく様々な課題に「教育」「研究」「医療・福祉」の分野において世界最高水準での研鑽を続けるとともに、知の力と高い実行力で課題に立ち向かい解決に取り組むことを基本とし「Fujita VISION 2030 ～その時、いちばん動ける藤田学園へ～」を掲げました。叶えるべき未来を定めたことで、私たちは何をすべきか——。一人ひとりが考えを深め行動し、そしてその実現に向けて 2025 年度の事業計画を策定しました。

1. アジア No. 1 のがん研究・診療拠点へ

がん診断では、最新の放射線診断機器や人工知能を用いた新たながん診断システムの確立等により、がんの確実な早期発見をおこなう。がん医療では、セラノスティクスセンターの稼働を始め、最新高精度リニアックの稼働、ホウ素中性子捕捉療法（BNCT）の導入準備、低侵襲ロボット手術の推進、Fujita 独自のがんゲノム医療を実践し、「アジア No. 1 のがん研究・診療拠点」となることをめざす。

2. 次世代研究の推進

「研究大学としての体質づくり」に向けて、橋渡し研究支援機関として先端医療技術の早期社会実装と、地域中核・特色ある研究大学強化促進事業を推進する。そして、地域社会、国内のみならず世界のあらゆる課題の解決に向けて世界一独創的な研究拠点となることをめざす。

3. 質の高い臨床研究および治験の推進

次世代のより良質な医療の提供に向けて、大学病院としての臨床研究における体質改善を図る。そして、革新的な医薬品・医療機器の開発などに必要となる質の高い臨床研究の推進と他の連携医療機関の臨床研究の質の向上をめざす。

4. 南海トラフ地震に備えた「災害時医療」の確実な実行

各大学・企業・自治体との相互連携を推進させ、大規模災害に備えた学園の防災体制をより一層強化させる。そのひとつとして、太陽光パネル設置による自律的な電力供給の強化を図る。また、藤田医科大学、三重大学、浜松医科大学の3大学間の連携強化に向けた災害時医療連携訓練の実施や防災士資格を取得した学生・教職員が地域・社会へ活動の場を広げることで、地域の防災力の向上に貢献する。

5. 医療 DX の推進

「全国医療情報プラットフォーム」の整備に先進的に取り組むことで、日本の医療分野のデジタル化を推進し、サービスの効率化や医療の質の向上、遠隔手術の実現、ロボットの導入などスマートホスピタルの実現をめざし、日本の医療の将来を大きく切り拓いていく先駆けとなる。

6. 経営基盤の強化

「その時、いちばん動ける藤田学園」であり続けるために、人材や施設設備等への計画的・継続的な投資をおこなう。その実現に向けて、日々の業務改善に努め、収益向上に寄与できる人材を育てるとともに、健全な経営の継続、財務体質の強化を実現する強固な経営基盤を構築する。

7. グローバルな新医療人の創出

海外トップレベル大学との MOU 連携を強化し、学生および教育者・研究者の相互交流を活性化させ、国際的に活躍できる人材を創出する。また、Fujita Medical Forum の開催を継続し、国際社会で躍動できる人材育成を進める。

8. 高度医療人材の養成に向けた教育環境の整備

「未来の医療」を担う高度医療人材の養成に向けて、大学病院における教育・研究・診療の機能維持と最先端医療設備を活用した臨床実習等の教育環境を充実させ、学生時代より研究に邁進するマインドを育てる。また、時代の要請に合った教育改革の推進に向けて、新学科・新研究科の設置をめざす。

9. 4 病院の強みを伸ばす病院運営

第 1 教育病院は大学病院の大幅な運用改善、待ち時間の短縮等、サービスの向上に向けた取り組みを強化することで、よりたくさんの患者さんに国際水準の質の高い安全な医療を提供する。第 2 教育病院は新棟建替え実現に向けて強固な財務基盤を確立させる。第 3 教育病院は七栗地区将来構想を見据えた健全経営をおこなう。第 4 教育病院はがん医療、救命救急等さらなる地域貢献に寄与する。

10. 羽田事業の推進

臨床研究と臨床現場を近づけ、保険診療におさまらない高度医療を提供すべく、優れた教員、最新の医療機器と研究施設を備えた他に類を見ない医療施設として整備の推進と、首都圏における医療業界内の認知度・評価の向上を図る。そして、早期に安定した経営基盤の確立に向け、社会における本学の知名度の向上、国内外からの受診者の獲得に努める。

11. 世界のモデルとなる地域共生社会と地域包括ケアの実現

超高齢化に対応できる地域包括ケアと地域共生社会の構築をめざす。また、地域で暮らし続けることができる高度な在宅看護の実践や自分らしい暮らしを継続支援するためのケアマネジメントの実施をめざす。

12. 人も社会も職員も大切にする藤田学園へ

教職員一人ひとりがプライドを持ち、働きがいのある職場づくりに向けて、新たな人事制度の導入、教職員のエンゲージメントを高めるための取り組みの実施、健康経営活動を推進する。また、ダイバーシティ & インクルージョン実現に向けて、人材の多様性を認め、その多様性を活かす就業環境・制度の整備を進める。

藤田学園は、教育機関や医療機関という既存ジャンルを超えた存在として、未来社会のあらゆる課題に All Fujita で挑み、医療を通じた社会貢献をおこなってまいります。

学校法人藤田学園 理事長

星長 清隆

事業計画概要

1 教育推進本部

【教育】

- I. 社会課題を解決できる研究能力を備えた人材の育成
 - ① 研究マインドを持った学生の増加のための SRP¹の充実
 - ② 数理・データサイエンス等の情報科学系授業の積極的な導入
- II. 地域医療の質的向上に貢献できる高度な専門的職業人の育成
 - ① 学生のキャリア形成を支援する教育の提案・企画
 - ② 高度医療人育成に向けた教育カリキュラム改革
- III. 国際的に活躍する人材の育成
 - ① 海外の大学との MOU 締結による学生および研究者の相互交流の推進
 - ② 英語教育カリキュラムの強化
- IV. 防災・減災に係る教育の推進
 - ① 全学生の防災士資格取得およびアセンブリ教育における防災の推進

【研究】

- I. 研究環境の改善
 - ① 外部資金獲得の取り組み強化
 - ② 若手研究者の研究環境の整備
- II. 研究支援体制の強化
 - ① 国際的に活躍する若手研究者の育成に向けた海外大学との MOU の締結および共同研究の推進
 - ② 顕著な研究実績を上げた若手研究者に対する報奨制度の整備

【経営】

- I. 業務の DX 化の推進
 - ① 積極的なデジタル技術（AI 等）の導入および推進
- II. 時代の要請に合った教育改革の実施
 - ① 新たな研究科および学科の設置
- III. 大学院の国際化
 - ① 優秀な外国人留学生の獲得

¹ Student Researcher Program

【社会貢献】

I. 地域の課題解決に向けた支援策の実施

- ① 地域の医療機関とコンソーシアムを構築し、地域の医療機関が抱えるさまざまな課題の解決に貢献
- ② 地域の中学生および高校生等を対象としたアントレプレナーシップ教育等の実施
- ③ 自治体等が地域住民を対象に実施する体力向上および健康教育の支援の実施

II. 地域の防災体制の支援の実施

- ① 自治体等が実施する防災訓練等への積極的な参加
- ② 一時滞在施設としてアセンブリホールを運用するための体制整備

III. 地域貢献

- ① 図書館、アセンブリホール、フジタホール、運動場の積極的な地域開放

2 医学部/大学院-医学研究科

【教育】

I. 医学研究と医療に主体的に参加する人材の育成

- ① 1 学年に基礎教室体験（選択制）と統合医学特論の導入

II. 医科学に加えデータサイエンスにも習熟した人材の育成

- ① 数理・データサイエンス・AI 教育認定制度申請（リテラシーレベル）
- ② 教育および学習における生成 AI の活用促進

III. 学術・研究活動に関与し医学を創造できる人材の育成

- ① 医学研究演習発表会や藤田医学会への学生参加の推進
- ② 学生の学会発表、論文投稿に関する費用補助

IV. 広い視野を持ち国際的に活躍できる人材の育成

- ① 海外留学派遣先の拡大
- ② 医学教育振興財団英国短期留学フェローシップへの応募推進

V. 誠実さや思いやりを持った人材の育成

VI. 安全で質の高い医療を実践する人材の育成

VII. 患者、家族等の課題について、共通の目的を設定して協働で実践する人材の育成

- ① アセンブリ教育における段階的・系統的な多職種連携教育の構築

VIII. さまざまな健康課題に取り組む人材の育成

- ① 医学部教育における新コアカリキュラム「人生の視点とアプローチ」への対応の促進

IX. 標準医療から先端医療まで科学的根拠に基づいた医療を実践する人材の育成

X. 質の高い研究活動を継続的にこなう学生の確保とグローバル化の推進

【研究】

- I. 高度医療人材の養成
 - ① 研究マインドを持った学生の育成
- II. 独創的な研究に挑む人材育成に向けた大学院教育の刷新
 - ① がんプロフェッショナルコースの運営
- III. 学位論文研究による学位取得率および学位論文の質向上
 - ① 英文国際誌掲載原著論文を原則とする学術水準の高い学位論文の執筆
- IV. 優秀な指導教員の確保と AI 研究の推進
 - ① AI 機器導入と機器を活用した指導体制の確立

【経営】

- I. 働き方改革実現に向けた教育負担の軽減
 - ① TA¹・SA²の活用・育成
 - ② ICT の活用による業務効率化
- II. 競争的資金の獲得推進

【社会貢献】

- I. 病院経営を担うトップリーダーを育成する専門職大学院の運営体制確立

¹ Teaching Assistant

² Student Assistant

3 医療科学部/大学院-医療科学研究科

【教育】

- I. アウトカム基盤型教育の改善
 - ① アセスメント実施方法の改善
 - ② 入試・教務・社会活動等のデータ一元化による運用
- II. 多様な学習機会の提供
 - ① 新たな学習支援事業の企画と運用
 - ② キャリア教育プログラムの見直し、企画
 - ③ 主体的学修のための教育方法促進
 - ④ IR¹を活用した現状評価
 - ⑤ 数理・データサイエンス・AI を用いた教育
 - ⑥ インターンシップ（国内外）の促進
 - ⑦ 学生の英語力の向上
- III. 多様な入学試験の実施
 - ① 入試制度の評価および分析による検討
 - ② 次年度入試に向けた効果的な広報の実施
- IV. 研究・臨床部門と連携した教育研究体制の確立
 - ① 共同研究の点検と拡充による高い研究スキルの習得
 - ② 外部資金や知財獲得に向けた共同研究の推進

【研究】

- I. 学内・学外の教育・研究拠点との共同研究環境の整備および推進
 - ① 外部資金の獲得
 - ② 戦略的な研究の知財化
 - ③ MOU 締結校の拡大
 - ④ MOU 校との事業の計画と実施
- II. 次世代研究を推進する仕組みの整備および推進
 - ① 学部内でのヘルスケア研究の重点項目の策定
 - ② 異分野との連携によるヘルスケア研究の推進
 - ③ SRP を活用した次世代人材の育成
- III. グローバル化の推進
 - ① 外国人留学生受け入れ、交換留学、シーズンスクール等の実施

¹ Institutional Research

IV. 学部教育と連携した教育研究体制の確立

- ① 医療科学研究科発足に伴う科目履修・研究指導の刷新および新しいカリキュラムの運用
- ② SRP 開始に合わせた講義科目の拡充の検討
- ③ 研究科内外の研究組織との連携による講義科目の検討
- ④ 遠隔授業と対面授業の特長を生かした効率的な授業形態の検討
- ⑤ 高度医療職養成の拡充の検討

【医療・福祉】

I. 藤田医科大学病院との連携強化

- ① 学部から中央診療部門への臨床連携の実施
- ② 中央診療部門から学部への教育連携の構築と実施
- ③ 臨床連携を基軸とした研究連携の検討・実施
- ④ 大学病院も含めた系列病院 5 拠点と医療科学部との人事交流の検討

II. 外部組織との連携推進

- ① 東海地域医療機関との連携の検討
- ② 国内・海外の大学および関連医療施設との連携の検討

【経営】

I. 時代の要請に合った教育改革の実施

- ① 新たな学科の設置についての検討
- ② 高度医療人材育成拠点の設置および関係機関との連携

【社会貢献】

I. 卒業生・社会人の学ぶ機会の提供

- ① リカレント教育の設計と実施

4 保健衛生学部/大学院-保健学研究科

【教育】

- I. 全人的医療・ケアを提供できる専門職人材育成および教育体系の構築
 - ① 新教育課程の実施・改善
 - ② 看護リハ合同学生参加型啓発活動の開催
 - ③ 情報科学教育の推進
 - ④ グローバル化の推進
 - ⑤ 課題のある学生へ寄り添い、解決に資する情報発信
 - ⑥ ロボットや VR などの先進技術を取り入れた教育の実施
- II. 修士課程進学をめざす学部生、社会人の増加
 - ① 就職後のキャリア形成を含めた学部生への進学勧奨
 - ② 海外からの入学生受け入れ

【研究】

- I. 未来社会の期待に応える次世代の研究課題の遂行および人材の育成
 - ① 英語論文投稿の推進
 - ② 学部内連携研究の推進
 - ③ 全教員の博士取得
 - ④ 学部生への研究マインドの涵養
 - ⑤ 分野責任者による各教員への論文投稿の促進
- II. 博士後期課程の運用定着に向けた取り組み
 - ① 修士（博士前期）課程修了予定者への進学勧奨
 - ② 入学者の研究計画立案と倫理申請
- III. 研究を推進するための活動実践
 - ① 臨床・教育・研究において、それぞれの特長を生かし高め合うための各拠点の密接な連携
- IV. 学位論文指導をおこなう人材の育成
 - ① 国際学会発表、国際論文雑誌投稿等を通じた若手教員の育成

【医療・福祉】

- I. 「やさしさの医療」の実践と社会への積極的な情報発信による Fujita のブランド力向上
 - ① Fujita のブランド力を高める社会発信の推進
 - ② 産官学・学内協働による先端技術の社会実装の支援
 - ③ 訪問看護・リハ等の地域活動の推進
 - ④ 看護師・理学療法士・作業療法士の実践能力・教育力向上

【経営】**I. 経営管理および運営体制の強化**

- ① 高大連携の拡充を通じた受験生の獲得
- ② 管理運営人材の育成
- ③ 働きがいを実感できる職場づくりの推進

【社会貢献】**I. 防災対応力の強化**

- ① 防災訓練の充実
- ② 専門家研修会の定例化等による防災人材の育成・質向上

5 研究推進本部

【研究】

- I. 地域中核・特色ある研究大学として「精神・神経病態研究拠点」の確立と共同研究の推進
 - ① 精神・神経病態研究拠点としての本格稼働
 - ② 連携大学・参画機関との共同研究の推進
 - ③ 海外連携大学との連携強化
- II. JST、AMED、経済産業省等が進める大型プロジェクトへの参画
- III. 研究活動の促進に向けた制度やプログラムの導入
- IV. スタートアップ支援と環境整備
- V. 中長期的な視点での医工学次世代人材の育成
 - ① 医療科学部やキャリア教育センターとの連携による、講義への協力ならびに学内外における次世代医工学人材の育成
- VI. 各分野における新たな研究の推進
 - ① CAR-T 細胞を用いた非臨床研究の推進。ES 細胞、iPS 細胞由来の再生 CTL を用いた感染症治療法開発のための非臨床研究の推進
 - ② 細胞内シグナル伝達、ゲノム、iPS 細胞解析を基盤とした精神・神経疾患治療薬のシーズ探索と創薬展開
 - ③ 再生医療研究における、豊明・羽田間の連携推進
 - ④ イノベーションセンター入居企業との共同研究の推進と、新規研究の需要創出
 - ⑤ 感染症分野における病態メカニズムの解明と治療薬・ワクチンシーズの創出
 - ⑥ ファルコバイオに続き LSI メディエンスとの事業推進
 - ⑦ 統合的腫瘍微小環境解析システムの構築とそれによる治療感受性判定法の確立
 - ⑧ リキッドバイオプシーシステムによる早期がん診断法の確立
 - ⑨ 線維症治療創薬の推進（スクリーニングによる候補化合物の同定）
 - ⑩ ゲノム編集技術を用いた新規病態モデル動物の作出

【社会貢献】

- I. 精神・神経疾患を中心としたアカデミア創薬エコシステムの実現
 - ① 橋渡し研究シーズ探索センター所属の製薬企業出身 PM¹との連携強化と創薬プラットフォームの構築
- II. 社会共創に向けた企業連携基盤の整備
 - ① 企業教育の企画および体制構築とその実施

¹ Project Manager

6 橋渡し研究統括本部

【研究】

I. 橋渡し研究支援機関として社会実装に向けた橋渡し研究の推進

- ① 学内・学外シーズ発掘の拡充
- ② 異分野シーズのマッチング
- ③ シーズの評価と選考システムの再評価

II. 基礎シーズから非臨床、臨床試験への早期実現をめざしたプロジェクトチーム体制の構築

- ① PM を中心にした適材適所のチーム編成およびシーズ A、シーズ PreA 応募課題への対応
- ② 多職種連携チームの伴走支援の実施によるシーズ A の 2 年以内の特許取得、PreA のシーズ A への引き上げ

III. 橋渡し研究シーズの供給拠点となる C-DAM¹の強化に向けた加盟校の増加と連携の強化

IV. CRC²、PM をはじめとする研究支援人材の育成

- ① 橋渡し研究教育セミナーに関するテーマ、コンテンツの充実化
- ② 医療科学研究科の生体情報検査科学分野において、体系化した講義の実施と治験・臨床研究支援センターでの実習の充実化
- ③ 教育コンテンツの充実によるシーズ進捗を担当する研究者の研究倫理リテラシーの向上

【社会貢献】

I. 優れた基礎研究の成果の革新的な医薬品・医療機器等への社会実装

¹ Consortium for Development of Advanced Medicine

² Clinical Research Coordinator

7 藤田医科大学病院（第1教育病院）

【医療・福祉】

- I. がんゲノム医療拠点病院の指定に向けた取り組み
 - ① 当院独自のがんゲノム医療の実践
- II. 外科領域のロボット支援手術の推進による最先端医療・低侵襲手術の充実
- III. アジア No.1 のがん診療拠点に向けたがん治療・がん診断治療の推進
 - ① セラノスティクスセンター稼働の推進と拡大
 - ② 放射線治療の拡充（BNCT 等）によるがん治療の推進
 - ③ 腸内細菌遺伝子マーカー検査の提唱
- IV. スマートホスピタル化実現による診療の効率化と業務改善
 - ① 搬送用ロボットの利用拡大による医療者負担軽減や業務効率化の推進
 - ② 人工知能(AI)を用いた新たながん診断システムの確立
 - ③ 業務システム・医療データのスマート化
 - ④ 安全性の高いセキュリティ基盤の構築

【教育】

- I. 藤田スピリットを継承する人材の育成
 - ① ホスピタリティ向上に向けた接遇教育の実施
 - ② 多職種タスクシフティングによる業務効率化・業務改善の推進
 - ③ 高い臨床実施力を持った医療人の育成

【研究】

- I. 基礎研究・臨床研究の推進
 - ① リサーチマインドの育成と臨床研究の推進
 - ② グローバルでの競争を意識した次世代研究の推進

【経営】

- I. 病院経営のための財務基盤の確立
 - ① 弾力的な手術室運用の継続
 - ② 経営目標達成に向けた各種取り組みの実践
- II. ワークライフバランスおよびダイバーシティの推進
 - ① 休暇の取りやすい勤務環境の推進
 - ② 男性職員の育児休暇取得や育児短時間勤務取得の更なる推進
 - ③ 労務管理体制の改善
 - ④ 複数診療科による診療協力体制（共同主治医制）の構築

【社会貢献】

I．基幹災害拠点病院としての責務を果たすべく南海トラフ地震に備えた医療提供体制の構築

- ① 基幹災害拠点病院機能の充実
- ② 重篤救急患者の救命医療をおこなうための高度な診療体制整備

8 藤田医科大学 ばんたね病院（第2教育病院）

【医療・福祉】

- I. 病院機能整備の拡充と円滑な病院運営および地域や社会のニーズに応える体制の構築
 - ① 弾力的な手術室運用の継続
 - ② 機能整備Ⅱ期(C棟)、Ⅲ期(E棟)計画の実行
 - ③ 食事の安全かつ効率的な提供システムの立案
 - ④ 連携施設の拡大と信頼関係の強化
 - ⑤ 救急機能の体制充実
 - ⑥ 地域がん診療連携拠点病院指定要件の達成に向けた体制整備
- II. 患者視点でのホスピタリティの向上
 - ① わかりやすい動線の表示
- III. スマートホスピタル化実現による診療の効率化と業務改善

【教育】

- I. “藤田スピリット”を継承する人材の育成
 - ① ホスピタリティ向上に向けた接遇の実施
- II. 病院経営教育の実施
 - ① 経営改善のためのボトムアップ提案、職員教育、研修実践

【経営】

- I. 病院経営のための財務基盤の確立
 - ① 機能評価係数Ⅱアップへの取り組み
 - ② 収益向上策の立案と実行
 - ③ 経営目標達成に向けた各種取り組みの実践
- II. 働きがいのある職場環境づくり
 - ① 多職種連携の強化等による業務効率化と業務負荷軽減
 - ② 育児休暇、育児時短勤務の推奨等によるやりがいのある職場づくり

【社会貢献】

- I. 地域や社会のニーズに応える体制の構築
 - ① 大規模災害に備えた拠点間連携を含む災害対策の確立
 - ② 地域活動への参画とつながりの強化

9 藤田医科大学 七栗記念病院（第3教育病院）

【医療・福祉】

- I. 特色ある医療・介護の質を充実させ、専門性のある病院としての地域定着
 - ① 総合的がん治療の実施、緩和におけるテーラーメイド治療の確立
 - ② リハビリテーション医療の特色の強化
 - ③ 内科診療の維持・強化
 - ④ 歯科口腔環境の維持向上と地域ニーズの提供

【教育】

- I. 学生・教職員の教育体制の整備
 - ① 専門性が発揮できる働きがいのある職場づくり
 - ② 質向上に向けた人材育成と研究の促進

【経営】

- I. 地域ネットワークの強化
 - ① 臨床各科・部と入退院支援課・訪問事業部との連携による在宅医療、急性期病院との共同活動
- II. 働きがいのある職場環境づくり
 - ① タスクシフト・タスクシェアリングの推進
- III. 環境改善計画および患者・職員・学生満足度向上
 - ① 患者満足度向上に向けた調査の実施および改善提案
 - ② 教職員の仕事場環境改善
- IV. 経営改善に向けた戦略企画の立案および実施
 - ① 10年後を見据えた VISION 立案と七栗校地の活用の検討
 - ② 収益アップに向けた取り組みの実施
 - ③ 訪問事業部への安定した紹介と医療保険利用者増加（緩和・精神等）
 - ④ 訪問看護事業所の3箇所目設置の検討
 - ⑤ 光熱水費・材料費動向と対策を開始（節約と方法の変更）
- V. ブランド力アップに向けた関連施設、関係者への広報活動

【社会貢献】

- I. 地域連携強化と地域貢献
 - ① 行政との協定に基づく教育を含む地域啓発活動
 - ② 災害時の体制整備と地域連携の明確化

10 藤田医科大学 岡崎医療センター（第4教育病院）

【医療・福祉】

- I. 安心・安全な低侵襲医療の充実
 - ① ロボット支援手術体制の拡充
 - ② 内科系疾患の低侵襲治療体制の充実
 - ③ 動脈疾患に対する血管内治療体制の充実
- II. 地域医療支援病院として地域のニーズに柔軟に対応する医療体制の構築
 - ① 外来診療機能強化（ER と各診療科の連携体制）
 - ② ICU（集中治療機能）・HCU（高度治療機能）の充実と体制強化
 - ③ 後方病院との連携強化、連携病院会議の充実
- III. 患者の視点に立った接遇向上の取り組み
 - ① 診療の効率化、待ち時間短縮の推進
- IV. スマートホスピタルの機能整備
 - ① 自宅からのカルテ情報閲覧による診療サポート体制の確立

【教育】

- I. 患者本位で質の高い医療を提供できる人材の育成
 - ① 医師が集まる質の高い診療と研究の拠点整備
 - ② 高度な医療を提供するための機能強化と環境整備

【経営】

- I. 働きがいのある職場環境づくり
 - ① タスクシフト・タスクシェアによる働き方改革の推進
 - ② 健康的なワークライフバランスの実現
 - ③ 職員満足度の向上
- II. 病院経営のための財務基盤の確立
 - ① DPC 病院として医療の標準化の推進
 - ② 断らない救急受け入れ体制の持続
 - ③ 医療連携施設の拡大強化
 - ④ 経営目標達成に向けた各種取り組みの実践

【社会貢献】

- I. 災害拠点病院として地域を支える医療提供体制の構築
 - ① 災害拠点病院機能の充実
 - ② DMAT 体制の強化

11 藤田医科大学東京 先端医療研究センター

【医療・福祉】

- I. 国際基準の最先端医療とおもてなしの提供
 - ① エビデンスに基づいた革新的かつ高度な医療の実施
 - ② 自由診療、先端医療など幅広い医療を提案し、社会の多様なニーズへ応答
 - ③ 活動長寿プログラムの推進
 - ④ 最新鋭の医療機器を用いた精密健診・検診の実施
 - ⑤ 国際基準の医療と接遇・ホスピタリティの提供

【教育】

- I. 再生医療および遺伝子治療領域の博士号取得をめざす医師、胚培養士など医療専門職の育成
- II. スタッフのリサーチマインドの向上

【研究】

- I. 再生医療等の普及をめざした Translational Research の実施
- II. 新規治療法の開発や創薬等、医療の進歩につながる研究の実施
- III. 医師主導治験等における羽田 CPC¹の活用に向けた細胞製造体制の構築と推進

【経営】

- I. FEC²羽田会員の獲得、国内外からの健診および受診患者の獲得
- II. 国内外への情報発信と FMiC³のブランド構築
- III. イベント・セミナーの積極的な推進

【社会貢献】

- I. 新しい医療の開発を通じて、すべての人類の健康維持への貢献
- II. 次世代医療の常識の創造、多様化するニーズへの対応
- III. 保険診療におさまらない高度医療の提供と受診の仕組み構築

¹ Cell Processing Center

² FUJITA EXECUTIVE CLUB

³ FUJITA MEDICAL INNOVATION CENTER

12 地域包括ケア中核センター

【医療・福祉】

- I. 健康寿命の延伸と療養支援の強化
 - ① 高度な在宅看護を実践できる看護師、療法士の教育計画の整備
 - ② 看護の質の担保、看護特定行為研修の受講促進
 - ③ 新訪問看護システムの導入・実践
- II. 自分らしい暮らしを継続支援するためのケアマネジメントの質の向上
 - ① ケアマネジメント主複担当制の本格的導入の検討および実施
 - ② ケアプラン作成手順の見直し、効率化の検討および実施

【教育】

- I. あらゆる地域の地域包括ケアと共生社会構築のための教育支援
 - ① 厚労省老健事業において全国から選出した 12 自治体の地域課題の分析
 - ② ミクロ・マクロデータを基にロジックモデルを形成し、具体的な支援策の実践
 - ③ 東海北陸厚生局管内の自治体支援の充実化

【経営】

- I. 看護師の専門性発揮のためのタスクシフト・シェアの実践
- II. センター運営のための財務基盤の確立
 - ① 訪問件数増に向けた取り組みの実践

【社会貢献】

- I. 重層的支援体制整備事業における地域課題の共有
 - ① 医療介護連携の課題・対応策の検討および実施
 - ② 介護予防事業、フレイル予防事業の検討および実施
 - ③ 総合事業における自治体支援の実施

13 法人本部

【経営】

- I. 組織の管理・運営体制の強化
 - ① 組織体制の見直し
- II. 働きがいのある職場づくり
 - ① 働きがいを高める人事制度・仕組みの充実
 - ② 働き方改革の推進
 - ③ 人材育成の推進
 - ④ 健康経営の推進
 - ⑤ 外部の職員相談窓口の導入
- III. 強固な財務基盤の確立
 - ① 学園経営を踏まえた投資計画の実施（人員計画・設備投資計画等）
 - ② 財務機能の強化（資金運用方法の見直し等）
 - ③ 発注・物流管理の強化と効率化の推進
- IV. 施設・設備投資マネジメントの強化
- V. 学園 IT のスマート化・高度化に向けた取り組み
 - ① 医療の DX 化、医療情報の有効利用の積極的な推進
 - ② 大学システム刷新によるコスト削減と業務効率化の実現
- VI. 広報機能の充実とブランド力の強化
- VII. ガバナンス・内部統制環境の強化
 - ① 私立学校法改正への対応
 - ② ガバナンス体制の強化

【社会貢献】

- I. SDGs への積極的な取り組み
 - ① ダイバーシティ & インクルージョン実現に向けた取り組み
- II. 大規模災害に備えた取り組み
 - ① 災害時広域連携の推進
 - ② 企業や自治体との連携強化
 - ③ 学園全体の災害対応力の強化



学校法人 藤田学園

学校法人藤田学園

〒470-1192

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

TEL: (0562)-93-2800(代)

<https://academy.fujita-hu.ac.jp/>

